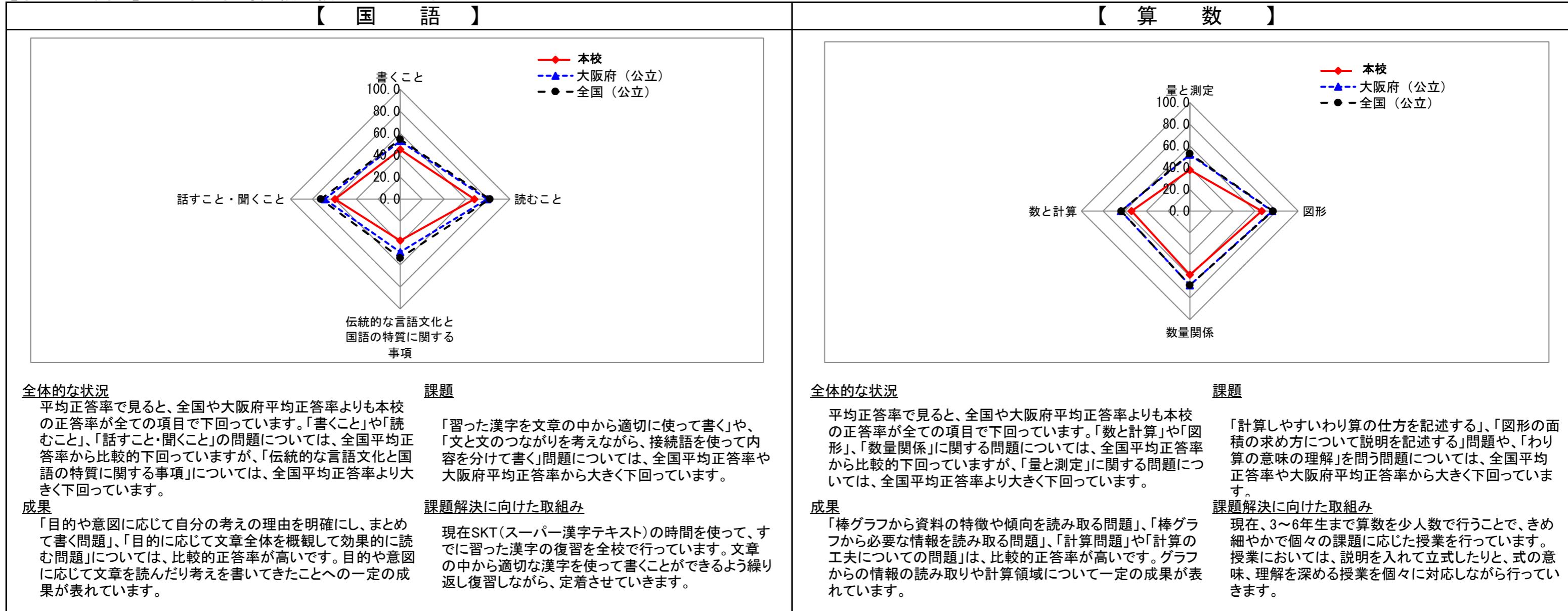


# 平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果について

富田林市立喜志小学校

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であります。学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

## 【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



## 【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
学校のきまりを守っていますか	91.9	88.4	92.3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	76	90.1	91.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.6	94.7	95.2	朝食を毎日食べていますか	82.5	94.1	95.3
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.5	91.6	92.5	家で自分で計画を立て勉強をしていますか	58.1	63.4	71.5
<b>全体的な状況</b>							
自分と社会との関わりである、規範意識や社会貢献に関する項目について肯定的にとらえる割合が多かったです。また、勉強が将来の役に立つと回答する児童の割合が高いです、一方、生活習慣に関する項目や学習面で自ら計画を立てて学習する点などの課題が見られました。						生活習慣に関する内容や、学習習慣に関する内容について、課題が見られました。これまで、日々の生活において生活面、学習面ともに正しい習慣が身に付くような指導が不足していたからだと思います。	
<b>成果</b>							
「きまりを守る」「人の役に立つ人間になりたい」、その他には「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」など、規範意識や社会貢献に関する項目について肯定的にとらえている児童が多いです。また、算数国語ともに「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と好意的に回答した児童が多いです。						児童には、社会貢献や規範意識、今勉強していることが役に立つ意識が高いので、日々の生活のなかで習慣づけることが自らの成長につながることを意識させ、常に承認し励まし習慣づける指導を行って行きます。	

## ○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

- 全国学力状況調査では、平均正答率が、全国や大阪府平均正答率より下回っています。
- 国語では、目的に応じて文章をまとめて書くや文章全体を概観して効果的に読む問題、算数では、グラフから情報を読み取るや計算問題について、比較的正答率が高いです。
- 国語では、文章に応じて適切な漢字を書く問題、算数では、式の意味理解を問う問題や図形の面積を求める式を説明する問題について、とりわけ正答率が低く、課題といえます。
- 児童からのアンケートから、社会貢献や人の役に立つ人間になりたい、規範意識に関する意識は高く、学習したことが将来役に立つ意識があり、学習面においても、人との関わりにおいても前向きに取組む資質が高いです。
- 学習習慣や生活習慣に関する項目では、とりわけ課題であり、学校において早寝早起き朝ごはん、毎日コツコツと勉強する習慣を築くことができるよう、日々の学校生活において指導を行う必要があります。
- 保護者や家庭、そして地域のなかでつながる力があるので、中学校に向けて学校も一緒に、学習・生活習慣づけに関する指導や取組み、安心安全に過ごせる学校づくりを行っていきます。